

第 43 回アルペン口腔科学フォーラム

会長：山田 慎一（富山大学学術研究部医学系 歯科口腔外科学講座 教授）

会場：富山大学附属病院 2F 多目的研修室

会期：2026 年 10 月 25 日（日）9:00～12:00

参加費無料

日本歯科医師会の認定を受けていますので現地参加の方は生涯研修カードをご持参ください。

主催：富山大学学術研究部医学系 歯科口腔外科学講座

共催：富山大学歯科口腔外科同門会

後援：富山県歯科医師会

プログラム

9:00 開会の辞 富山大学学術研究部医学系 歯科口腔外科学講座 教授 山田慎一

9:05～ 一般演題Ⅰ 座長： 富山県立中央病院 歯科口腔外科 小島 拓

1-1 癒合歯を伴う多数の埋伏過剰歯を認めた 1 例

富山赤十字病院 歯科口腔外科 ○尾崎恵悟, 石戸克尚

過剰歯の発現率は 0.9～1.0%程度であり大多数は 2 本以下である。3 本以上の多数の過剰歯症例は 1%以下という報告もあり、非常にまれである。本邦において、7 本以上の過剰歯を認めた症例は 10 例であり、癒合歯を含む症例は 1 例のみであった。今回われわれは 16 歳男性に生じた、癒合歯 1 本を含む 9 本の埋伏過剰歯を同時に認めた症例を経験したため報告する。

1-2 口腔機能低下と認知症予防

済生会富山病院 歯科口腔外科 ○中村博幸

歯の喪失やオーラルフレイルは、咀嚼力低下にとどまらず認知症の修飾可能な危険因子として注目される。本講演では、口腔機能低下が脳に及ぼす影響を「栄養経路」と「感覚-神経経路」の 2 経路から整理した。歯の喪失は植物性食品・食物繊維の摂取を減らし、酸化ストレスや腸内細菌を介して海馬に影響する。孤食も食事の質と内側側頭葉体積の低下に関連する。一方、歯根膜由来の感覚入力の喪失は義歯では補えず、認知正常者でも内側側頭葉萎縮や白質病変が検出される。改訂版 OF-5 はこの前臨床期変化を捉えうる。自然歯の保存が有望な予防標的である。

1-3 複数の診療科の連携のもと治療を行ったクマによる顎顔面外傷の 1 例

富山大学 学術研究医学系 歯科口腔外科学講座

○辻 誠 , 高塚団貴, 池田篤司, 三浦桂一郎, 櫻井航太郎, 高市真由, 大内 峻, 松下 奨, 山田慎一

近年、全国的にクマによる人身被害が増加し、社会問題となっている。クマによる外傷はクマの咬傷や爪による裂創・挫滅創を主体とする外傷であり、顎顔面領域を受傷部位とする頻度が高く、顔面裂創、顔面骨骨折、眼球損傷などを合併することが報告されている。そのため、関連する診療科が緊密な連携のもと専門性をもって治療を行うことが重要である。今回、我々はツキノワグマによる顎顔面外傷症例を経験したので、その概要を報告する。

1-4 上顎埋伏第二大臼歯に伴う含歯性嚢胞に対し開窓術を施行した 1 例

黒部市民病院 歯科口腔外科 ○草島立太, 高桜武史

含歯性嚢胞の治療法には摘出術と開窓術があり、年齢や病変の大きさ、隣接する重要器官（上顎洞や下顎管等）との位置関係に応じて術式が選択される。今回われわれは、14 歳男性の右上 7 埋伏歯に由来する含歯性嚢胞に対し、全身麻酔下で開窓術を施行した。嚢胞の縮小と上顎洞の形態回復を確認した後、右上 7 を口腔内より抜歯し、良好な結果を得たのでその概要を報告する。

9:45～ 頭頸部アルミノックス治療 製品紹介 楽天メディカル株式会社

10:00～ 休憩

2-1 当科における馬蹄形骨切り併用 Le Fort I 型骨切り術の臨床的検討

富山県立中央病院 歯科口腔外科 ○笠原公輝, 倉部華奈, 清水まや, 新村莉由, 金森咲月, 小島拓

馬蹄形骨切り併用 Le Fort I 型骨切り術は、通法の Le Fort I 型骨切り術により上顎骨をダウンフラクチャーした後、上顎骨を口蓋部と歯槽部に分割する術式であり、歯槽部を後方や上方に大きく移動させる症例に適応される。近年、顎変形症患者に対する顎矯正手術の社会的認知度が高まり、その需要は拡大している。それに伴い、患者の要望も多様化しており、当科においても、患者の要望に対応するため本術式を選択する機会が増加している。今回、当科における馬蹄形骨切り併用 Le Fort I 型骨切り術の現状を把握することを目的として、臨床的検討を行ったので報告する。

2-2 ラット延髄孤束核における舌電気刺激誘発味覚の神経表象

1. 富山市民病院 歯科口腔外科
2. 富山大学 学術研究部医学系 歯科口腔外科講座
3. 富山大学 学術研究部医学系 統合神経科学講座

○石坂理紗^{1,2}, 野口 映^{1,2}, 朽名智彦^{1,2}, 野口 誠², 山田慎一², 田村了以³, 則武 厚³

これまで延髄孤束核（NST）の味覚ニューロンについては、基本味（塩味、甘味、酸味、苦味、旨味）に対する応答が検討されてきた。一方、NST 味覚ニューロンの活動は舌への電気刺激によっても誘発される。本研究ではラットの NST 味覚ニューロンで、基本味および舌電気刺激に対する単一ニューロン活動を記録した。多次元尺度構成法を用いて、ニューロン間および味刺激間の関係を低次元空間に配置し、その構造を検討したので報告する。

2-3 高岡市民病院口腔ケア摂食嚥下チーム介入による入院期間と予後予測に関する検討

高岡市民病院 歯科口腔外科 ○篠原治征, 梁 由美

誤嚥性肺炎および脳卒中後嚥下障害患者のうち嚥下内視鏡検査(以下 VE)を行った 89 例を対象に、口腔ケアチーム介入の効果を検討した。歯科医師、耳鼻科医、歯科衛生士、看護師、ST が入院早期から介入し、専門的口腔清掃と口腔機能訓練を実施した。VE 所見に基づき食形態と摂食姿勢を調整した結果、多くの症例で経口摂取開始が早期化し、対照群と比較して入院日数が短縮した。口腔ケアチームによる包括的介入の有用性が示唆された。

2-4 インプラント手術による下歯槽神経障害のステージ分類と対応方法

1. 医療法人社団ムラヤマ歯科、
2. 東京歯科大学口腔顎顔面外科学講座

○村山雅人^{1, 2}、村山偉知朗¹

インプラント手術による下歯槽神経障害では、神経断裂を伴う重度障害に対して神経縫合術や神経再生誘導チューブを用いた外科的治療の有効性が報告されている。一方、比較的軽症例では安易なインプラント撤去により外傷性神経腫を形成し、アロディニアを惹起して症状を悪化させる可能性があることを演者は指摘している。本講演では、演者が提唱する「インプラント手術による下歯槽神経障害のステージ分類と対応方法」を解説し、自験例を供覧する。

11:00～ 特別講演

座長： 富山大学学術研究部医学系 歯科口腔外科学講座 教授 山田慎一

特別講演

「下顎智歯の抜歯時、神経障害を回避する方策とは？」 神経障害が生じた場合の早期的確な診断法とは？」

講師：和歌山県立医科大学 名誉教授

北大阪ほうせんか病院 顧問 口腔健康センター長・歯科口腔外科 部長 藤田茂之

頻度は低いものの、下顎智歯の抜歯後に舌神経、下歯槽神経障害・異常が生じます。一端、勃発すると患者は動揺し改善しない症状に 簡単には納得しません。当然、歯科医師も、その対応に困り果て苦慮するのが常です。 私は過去 20 余間、重篤な舌神経、下歯槽神経障害・異常に悩む患者に対して、約 160 症例を超える顕微鏡視下神経修復手術を施行してきました。その術中に、下歯槽神経の挫滅、下顎歯槽骨の異常な欠損、舌神経断端に生じた神経断端腫、硬化した瘢痕組織などを容易に視認できます。「どのような抜歯操作を行って、この悲惨な現状を招いたのか？ 回避できなかったのだろうか？」と、手術の度に考えながら手術操作を進める様になりました。また、和歌山県立医科大学・歯科口腔外科の外来診療において、智歯抜歯の依頼症例数は毎年 約 1 0 0 0 例を超えていました。その症例の中には、結果的には何とか下顎智歯の抜歯を貫徹できたが、冷汗もの抜歯であった症例も記憶に残っています。先ず、智歯抜歯による神経障害は、どのような埋伏歯抜歯の操作状態で起こっているのか、回避法の分析を説明します。次に神経障害が生じた場合の自然治癒を見込めるか否かの早期診断法を解説し、安全で効率的な智歯の抜歯術式とは何かを提示させていただきます。

【ご略歴】

学 歴

1981 年 九州歯科大学 (29 期)

1988 年 京都大学 医学部 大学院医学研究科 博士課程

職 歴

1981 年 京都大学 医学部 附属病院 口腔外科 医員

1983 年 愛媛県 宇和島市立病院 歯科口腔外科 医員

1988 年 滋賀県 豊郷（とよさと）病院 歯科口腔外科 医長

1990 年 京都大学 医学部 口腔外科 助手

1992 年 ドイツ連邦共和国 チュビンゲン大学 顎顔面外科学講座 助手

1994 年 京都大学 医学部 口腔外科学講座 講師

2000 年 和歌山県立医科大学 歯科口腔外科学講座 主任教授

2020 年 和歌山県立医科大学 定年退官、名誉教授

大阪府 茨木市 北大阪ほうせんか病院 顧問・口腔健康センター長



FINESIA®

Relios



Bone Level



Tissue Level



京セラメディカル株式会社 本社:〒612-8450 京都市伏見区竹田烏羽殿町6番地 WEBサイト:<https://www.kyocera-medical.co.jp>

販売名:FINESIA BLフィクスチャー BE 分類:高度管理医療機器 一般的名称:歯科用インプラントフィクスチャー 承認番号:304008ZX00158000 クラス分類:III © 2025 KYOCERA Medical Corporation
販売名:FINESIA TLフィクスチャー BE 分類:高度管理医療機器 一般的名称:歯科用インプラントフィクスチャー 承認番号:305008ZX00286000 クラス分類:III [FINESIA][Relios]は、京セラメディカル株式会社の登録商標です。



未来へ駆ける。

人との繋がりを大切にしながら、
わたしたちは、走り続けます。



セントラル メディカルグループ

医療機器総合商社

セントラルメディカル株式会社

本社

〒920-0024 石川県金沢市西念3丁目1番5号
TEL.076(262)1111代 FAX.076(223)7255
富山支店・福井支店

<http://www.centralmedical.co.jp/>

福祉用具レンタル・販売

株式会社メディベック

本社

〒920-0024 石川県金沢市西念3丁目1番5号
TEL.076(224)5600代 FAX.076(224)6116
金沢営業所・富山営業所・福井営業所



STRAUMANN iEXCEL™

UNLEASH YOUR POWER

- ★ 直観的な使い分けが可能な 4 種類のインプラントデザイン
- ★ 1 つのインスツルメントキットですべての iEXCEL インプラントに対応
- ★ コネクションの規格を共通化したことによるシンプルな補綴ソリューション

COMING 2027

ストローマン・ジャパン株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7 三田ベルジュビル6階

ストローマンインプラント(Roxolid SLActive)TLC	308008ZX00168000
ストローマンインプラント(Roxolid SLActive)BLC	308008ZX00064000
ストローマンインプラント(Roxolid SLActive)TLX	307008ZX00145000
ストローマンインプラント(Roxolid SLActive)BLX	302008ZX00243000

2F



- 24** 医療福祉サポートセンター
(医療相談・栄養相談)

25 採血受付

26 生理検査受付

27 輸血細胞治療部門

C 外来受付 - 内科・脳神経内科・総合診療科
感染症科・腫瘍内科・緩和ケア内科

C1 内科待合

C2 内科待合

C3 内科待合

C4 内科待合

C5 内科待合

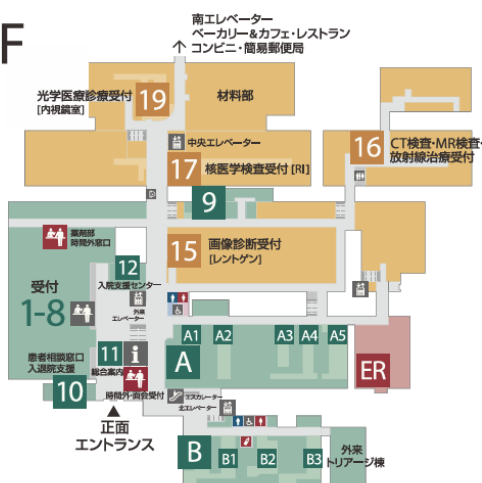
D 外来受付 - 皮膚科・外科・耳鼻咽喉科頭頸部外科
形成再建外科・美容外科

D1 皮膚科治療等待合

D2 皮膚科・外科待合

D3 外科・耳鼻咽喉科頭頸部外科待合

1 F



- | | | |
|----|---|-----------|
| | 受付 1-8 | 薬剤部時間外窓口 |
| 9 | 放射線診断科・放射線治療科 | |
| 10 | 医療福祉サポートセンター〔患者相談窓口・退院支援〕 | |
| 11 | 総合案内 | 時間外・面会受付 |
| 12 | 入院支援センター | |
| 15 | 画像診断受付〔レントゲン〕 | |
| 16 | CT検査・MR検査・放射線治療受付 | |
| 17 | 核医学検査受付〔RI〕 | |
| 19 | 光学医療診療受付〔内視鏡室〕 | |
| ER | 災害・救命センター外來 | |
| A | 外來受付－整形外科・脳神経外科・和漢診療科
産科婦人科・リハビリテーション科 | |
| A1 | 整形外科待合 | |
| A2 | 脳神経外科待合 | |
| A3 | 和漢診療科待合 | |
| A4 | 産科婦人科待合 | |
| A5 | 顎口腔外科・特殊歯科受付・待合 | |
| B | 外來受付－小児科・アイセンター（眼科）・泌尿器科 | |
| B1 | 小児科待合 | B3 泌尿器科待合 |
| B2 | アイセンター（眼科）待合 | |

お問い合わせ：富山大学学術研究部医学系歯科口腔外科学講座

〒9300814 富山市杉谷 2630

Tel : 0764347383 Fax : 0764345041

準備担当：櫻井航太郎 sakurai@med.u-toyama.ac.jp

※表紙イラストは Canva AI を使用して生成しています。